

週間漁海況情報—第1号

平成25年1月7日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

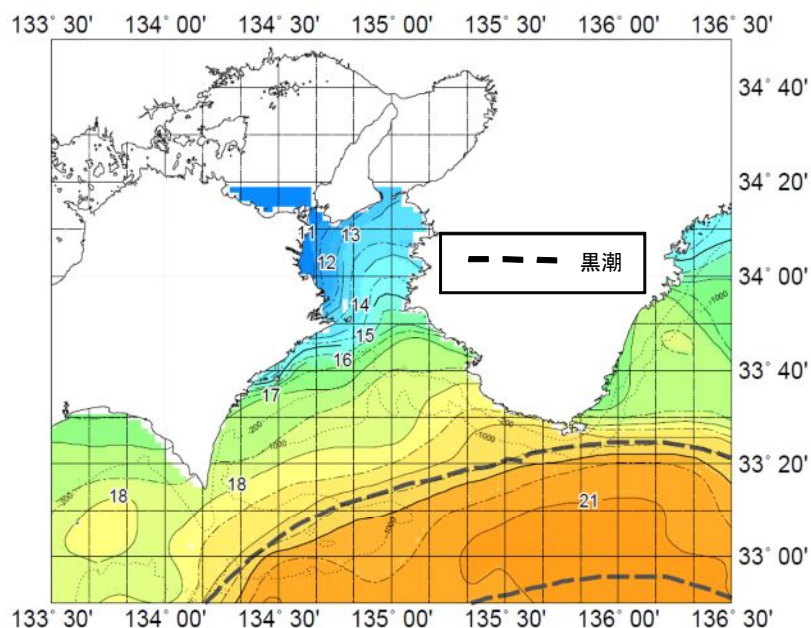
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

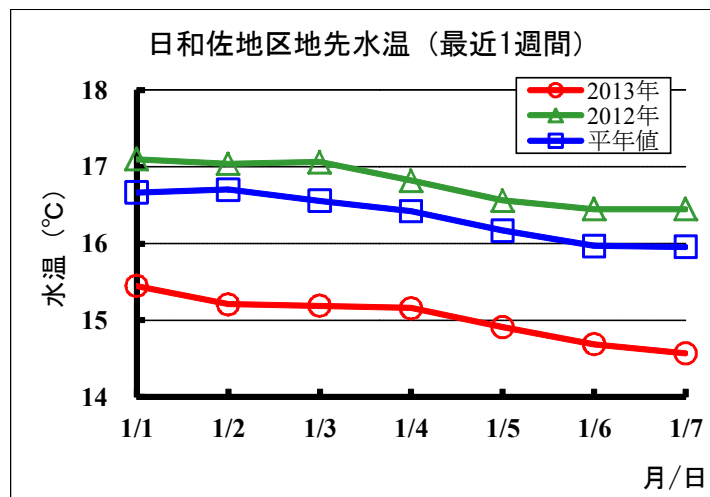
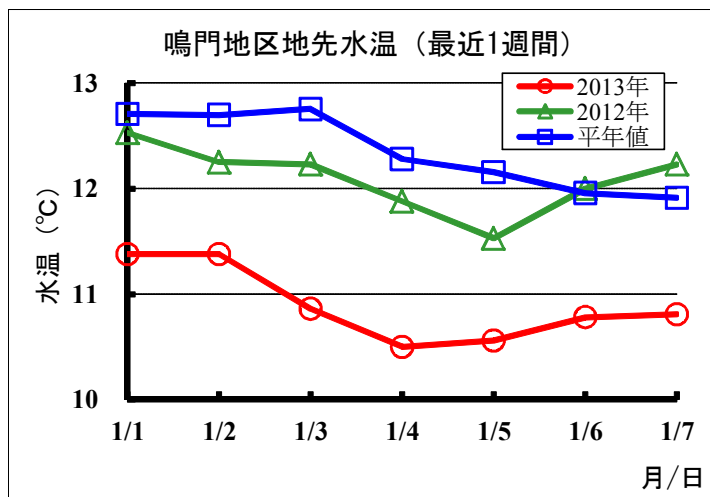
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.1.7）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、20～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10～11℃台、紀伊水道で10～14℃台、海部沿岸で13～17℃台である。紀伊水道外域への顕著な暖水流入は確認できない。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「低め」～「やや低め」の10.5～11.4℃、日和佐地区は「低め」～「やや低め」の14.6～15.5℃、牟岐地区は「かなり低め」～「やや低め」の13.0～15.8℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にアカムツが0.4トン（1日1隻あたり36kg）、大主体にキダイが0.9トン（同20kg）、大主体にサバフグが1.0トン（同28kg）、クロサバフグが0.2トン（同31kg）、カワハギが0.5トン（同43kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、キビナゴが0.2トン（同36kg）、アオリイカが0.8トン（同21kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小小主体にマアジが1.4トン（同235kg）、小小主体にマルアジが1.3トン（同216kg）、小主体にゴマサバが2.9トン（同491kg）、中主体にヒラソウダが0.3トン（同53kg）、中主体にアオリイカが0.4トン（同69kg）、中主体にスルメイカが0.7トン（同110kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、メジロが2.3トン（同26kg）、マダイが0.4トン（同1kg）、大主体にアオリイカが0.5トン（同10kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが8.4トン（同150kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 12月24日～1月6日

県下6漁協から聞き取り						
漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量 (kg)	1日1隻当たり 漁獲量 (kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	10	363	36	大主体
		キダイ	46	906	20	大主体
		サバフグ	36	1,004	28	大主体
		クロサバフグ	8	246	31	
		カワハギ	11	475	43	
小型定置網		キビナゴ	6	213	36	
		アオリイカ	36	767	21	
大型定置網		マアジ	6	1,412	235	小小主体
		マルアジ	6	1,294	216	小小主体
		ゴマサバ	6	2,945	491	小主体
		ヒラソウダ	6	321	53	中主体
		アオリイカ	6	415	69	中主体
		スルメイカ	6	661	110	中主体
釣り		メジロ	87	2,259	26	
		マダイ	290	427	1	
		アオリイカ	53	540	10	大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	56	8,400	150	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「低め」～「やや低め」の10℃台、日和佐地先で「低め」～「やや低め」の14℃台で推移する見込み。

徳島県周辺海域の長期漁海況予報（2013年1月～6月）：海況分のみ抜粋

足摺岬沖～潮岬沖の黒潮は接岸傾向であるが、都井岬沖からの小蛇行東進に伴い、1～2月には、一時的に離岸する見込み。

紀伊水道～紀伊水道外域の海水温は、「平年並」～「低め」で、黒潮の小蛇行東進時に変動する見込み。

◆長期漁海況予報は水産研究所HPでも公開しています。

HPアドレス <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/information/forecast/>